



インバウンド高付加価値観光へ向けたセミナー

高付加価値観光につながる 地域文化の可能性



文化的価値や背景に興味関心の高い、高付加価値な観光を求める旅行者向けに、
地域の魅力・ストーリーの効果的な伝え方を学ぶセミナーを開催します。

プログラム

- 13:00～挨拶
13:10～セッション1 文化を主軸とした地域観光の可能性
14:15～セッション2 地域における文化観光の実践と課題共有
15:15～セッション3 高付加価値観光を提供するために今しなければならないこと
15:35～国からの施策紹介

日 時：2025年3月6日(木) 13:00～16:00
開催場所：Microsoft Teams(オンライン)
参加費：無料

セミナー登壇者

セッション1 文化を主軸とした地域観光の可能性

文化資産を活用したエリアプロデュースが、地域の日常を非日常に変える



株式会社八芳園 代表取締役社長 井上 義則

2003年に八芳園入社後、4年で婚礼組数をV時回復させ、2000組に倍増。その後、MICE産業へ参入し、2020年東京オリンピック・パラリンピックではホストタウン活動のメニュー開発や国際交流イベントをプロデュース。文化資源を起点に、地域の技術・資源・人材を活かした付加価値のあるソフトを組み合わせ、非日常体験として提供することで、文化と経済を繋いでいく拠点づくりを推進。
(株)八芳園エリアプロデュース警固 / (株)八芳園交流コンテンツプロデュース / (株)八芳園ヒューマンリソースマネジメント 代表取締役 / DMO GATEWAY 高輪・品川 会長



富裕層インバウンド・サポートツーリズム・伝統産業×観光産業の可能性

株式会社DENTO 取締役 西堀 耕太郎

京和傘製造元「日吉屋」五代目当主・TCI研究所代表。カナダ留学後市役所で通訳をするも、結婚後妻の実家「日吉屋」で京和傘の魅力に目覚め、職人の道へ。2004年五代目就任。「伝統は革新の連続」を企業理念に掲げ、海外展示会に積極的に出展。2012年、日吉屋で培った経験とネットワークを活かし、日本の伝統工芸の海外向け商品開発や販路開拓を支援するTCI研究所を設立し代表に就任。2021年インバウンド富裕層向けのサポートツーリズム事業として、クラフトツーリズム「伝燈-DENTO-」を企画する株式会社DENTOを外資系旅行代理店等と設立。伝統産業の事業承継等に取り組む。



資源・エネルギー・ヒトを循環させるサステイナブル・ブリュアリー

尾畠酒造株式会社 専務取締役 尾畠 留美子

「真野鶴」五代目蔵元。大学卒業後、日本ヘラルド映画の宣伝部に所属。1995年、角川書店「Tokyo Walker」編集者(現:尾畠酒造(株)社長)と結婚し、故郷の蔵を継ぐ。2014年から佐渡の廃校を仕込み蔵として再生させた「学校蔵プロジェクト」をスタート。この学校蔵では、酒造りを学べる一週間の「酒造り体験プログラム」を開催。国内外から参加者が集まり、19カ国150人以上の卒業生によるワールドワイドなコミュニティが広がっている。資源もエネルギーもヒトも循環させるサステイナブル・ブリュアリーとして注目を集めている。今後は自立自走のゼロカーボンブリュアリーを目指して躍進中。

セッション2 地域における文化観光の実践と課題共有



株式会社外池酒造店

代表取締役社長

外池 茂樹

一般社団法人雪国観光圏

事務局長

細矢 智子

早川町観光協会

事務局長

小林 亜沙美

セッション3 高付加価値観光を提供するために今しなければならないこと



合同会社ケイプラス 代表 阿部 佳

1992年ヨコハマグランドインターナショナルホテルにコンシェルジュとして入社。その後、コンシェルジュの世界組織「レ・クレドール(Les Clefs d'Or)」国際正会員となり、1998年「レ・クレドールジャパン」プレジデント(会長)、2002年グランドハイアット東京チーフコンシェルジュへ就任。2014年レ・クレドールインターナショナル名誉会員。現在は明海大学教授を務めながら、合同会社ケイプラス代表として、観光先進国実現と継続を目的に、ホスピタリティ人材育成、プロのチーム拡大強化、地域観光経済活性・ホスピタリティ向上支援等、「逢いたい人に逢いに行く旅」を増やすことを目指し、ホテルコンシェルジュの経験を活かして活動中。

お申込み：URLアドレス https://www.kanto.meti.go.jp/seisaku/sightseeing/tourism_seminar.html

上記HPもしくは右記QRコードよりお申し込みください。

申込締切：3月3日(月)17:00 ※定員に達し次第終了

お問合せ：関東経済産業局 流通・サービス産業課 地域ブランド展開支援室

MAIL：bzl-regional_brand_support@meti.go.jp

